

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-0012
 住 所 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟401号
 氏 名 株式会社 ケイエスピーコミュニティ 印
 代表取締役社長 大北 智良
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	(株)ケイエスピーコミュニティ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟401号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産管理業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,352	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	管理部
		所在地	川崎市高津区坂戸3-2-1 西棟401号
		電話番号	044-819-2200
		FAX番号	044-819-2210
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	入居テナントへの省エネ協力依頼文書配布と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有を進めていく。 ビル共用部分照明のLED照明への更新及び照度センサーによる減光及び消灯による電力量の削減 詳細は、指針様式第1号(第4面・5面)のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)への参加予定 電気の供給を受ける事業者の変更 (Co2排出係数の低い事業者へ変更) 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
備 考	

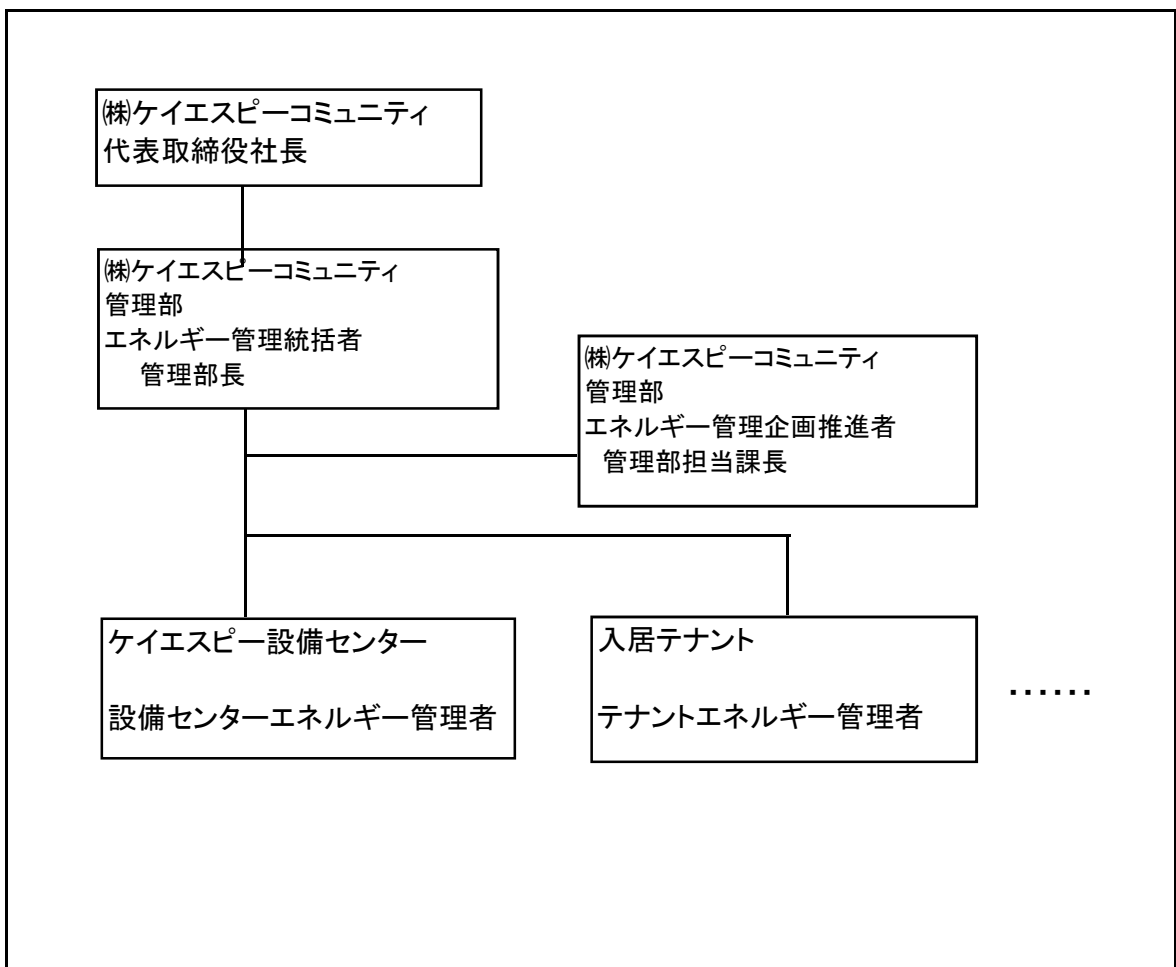
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- ・地球温暖化対策に関する取組を、継続的に推進する。
- ・ビル設備の効率機器・器具へ更新し排出量の削減に取り組む。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 8,189 (調) 8,189 t-CO ₂	目標排出量	(実) 8,036 t-CO ₂
削減率	(実) 1.9 %	削減量	(実) 153 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

ビル内共用部分のLED照明器具照明器具への更新による削減量の概算値

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の整備 入居テナントへの省エネ協力依頼文書配布と管理関係者による省エネ会議を開催し温暖化対策の意識向上、情報共有を進めていく。 ・照明設備の更新 照明設備の更新時（共用部・駐車場・外構照明）に、高周波点灯型器具やLED照明器具などの高効率照明を導入する。又照度センサーの設置等による照度の減光や消灯による電力使用量を削減する。
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
なし			

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
なし			

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<p>竣工時（平成元年）より共用通路部分照明等コンパクト型蛍光灯を使用、上水・雑用水圧送ポンプはインバーターによる回転制御、空調機用給排気ファンモーターとVAVのインバーター制御、駐車場給排気設備を設けず自然換気としており省エネルギーを意識した設計となっており、今後の更新時も同じように省エネルギーを考慮した改修を考えていく。</p> <p>平成18年4月には、NEDO申請による中央監視設備更新BEMS工事が完了した為、より一層省エネルギーに取り組んでいます。</p> <p>平成18年 中央監視設備更新BEMS工事 207.9 t-CO2/年削減 平成18年 貸室内照明器具の改修工事 FLR40W×2 → Hf32Wインバーター器具への改修（9200台） 0.11 t-CO2/年削減</p> <p>空気調和器の整備・清掃による動力・搬送損失の削減対策の随時実施</p>
--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・CO₂排出係数の低い電気事業者へ変更する
- ・川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加予定

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	8,189	t-CO ₂
(調)	8,189	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
㈱ケイエスピーコミュニティ	川崎市高津区坂戸3-2-1	6941	かながわサイエンスパーク	8,189 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--